Goldman Sachs Asset Management

国内における資産運用ビジネスについて

ｺﾞｰﾙﾄﾞﾏﾝ･ｻｯｸｽ･ｱｾｯﾄ･ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ株式会社

①　日本拠点における資産運用ビジネスの経営戦略

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントは世界約 30 カ国に運用ビジネスの拠点を構え、約 2,400 名の社員を擁するグローバルな金融機関として、様々な国・地域に渡る資産運用および投資助言サービスを提供しています*1。1990 年の投資顧問会社設立より日本を重要拠点の 1 つと定め、日本の機関投資家および個人投資家へ世界水準の資産運用サービスを提供し、日本の資産運用ビジネスの拡大に貢献してまいりました。

弊社においては、ゴールドマン・サックスのグローバル金融市場で培った市場分析力、リスク管理能力、そして先進的なテクノロジー基盤といった豊富なリソースを強みとし、投資家のみなさまへそれらを活用した最適なソリューションをご提案しております。

投資対象は株式や債券、マネー・マーケットなどの伝統的資産に加え、不動産投資やプライベートデット・エクイティといったオルタナティブ資産も含め多岐に渡り、今日の大きく変化する市場において、多様な資産運用ニーズにお応えできるよう上質な投資機会とサービスのご提供を目指しております。

*1 2025 年 3 月末時点

②　資産運用立国に向けての弊社の取組み

資産運用立国に向けての弊社の取組みとして、主に以下の内容を挙げさせていただきます。

1. 世界水準のグローバル分散投資を機関投資家および個人投資家へ提供

長期運用に資するファンドをご提供するために、グローバルなネットワークと専門性を活かした分散投資型のファンドをご提供しています。多岐に渡る投資スタイル、地域、運用手法を取り揃え、投資家の運用ニーズに即した商品ラインナップの拡充に努めています。

例えば、2025 年にはインデックス投資から次の段階を目指す投資家に向けて、全世界株式の ETF を投資対象としたエンハンスト・インデックス戦略の公募投資信託を設定しました。主にオンライン・チャネルで販売することで手数料を低めに設定し、より幅広い投資家層に向けて高度な運用ソリ

ューションをご提供します。

2. **オルタナティブ資産を含めた専門性の高い運用商品の提供**

投資家の運用ポートフォリオの大半を占める上場株式や債券等の伝統的資産とリスク・リターン特性の異なるオルタナティブ資産に対する投資機会をご提供しています。ゴールドマン・サックスの広範な世界規模のネットワークを活用し、オルタナティブ投資の専門家による投資機会をご提供しています。

3. **スチュワードシップ責任への取組み**

ゴールドマン・サックス・アセットマネジメントは、責任ある投資行動を通じて、機関投資家としてのスチュワードシップ責任を果たすことにコミットしています。投資先企業・発行体との建設的な目的をもった対話（エンゲージメント）、株式投資における株主議決権行使、その他の働きかけを通じて投資先企業・発行体の価値向上に資する適切な行動を支援し、投資先の持続的な成長と投資家のリターン向上の好循環の実現に貢献することを目指します。

4. **OCIO の豊富な実績を日本のマーケットへ**

運用戦略・体制の高度化やガバナンスの改善、情報開示の進展に向けて、欧米の企業年金等では OCIO（CIO 機能の部分的外部委託）の採用が進んでいます。ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントは OCIO サービス・プロバイダーとして米国で最も多くの運用資産を受託しており[*2]、1995 年のマルチアセット運用チーム設立以来、長きに渡り企業年金等へのあらゆる資産運用ニーズに応える体制を整えてきました。これまでのグローバルな経験と専門知識を全面に発揮し、日本への OCIO サービスの推進を行ってまいります。

5. **基準価額の一者計算化への取組み等**

弊社は投資信託のグローバル・スタンダード化を推進する一環として投資信託の基準価額における一者計算化について、従前より積極的に取り組んでおります。一者計算への移行を目指し、行政当局や投資信託協会との協議、検討会への参加、実験的プロセスの導入などを通じて業界全体の議論をリードしてきました。一者計算の導入により、投資信託の事務・管理の効率化と国際化を果たし、投資家にとって多種多様なより良い商品の選択を可能とすることを目指します。また、交付目論見書の電子化に関する実証実験に参加し、プロセスの効率化、わかりやすい開示の実現に尽力しております。

[*2] 出所: Cerulli Associates: “U.S. Outsourced Chief Investment Officer Function 2022” 時点：2023 年 1 月